

株式会社イマナガ

2014年 CSR報告書



本報告書は、株式会社イマナガのCSR（企業の社会的責任）に関する考え方や取組みについてステークホルダー（利害関係を有する方々）の皆様にわかりやすくご報告し、ご理解いただくことを目指しています。

弊社では、このCSR報告書以外にもホームページや公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネットにてさまざまな情報を更新しております。

## WEB サイト

公益財団法人産業廃棄物処理振興財団の産廃情報ネット

<http://www.sanpainet.or.jp/>

株式会社イマナガ ホームページ

<http://www.imanaga-r.co.jp/>

## 対象期間

2014年度（2013年8月1日～2014年7月31日）まで

## 対象組織

株式会社イマナガ

## 発行時期

2013年8月（初回）

2014年8月（2版）

## 【目次】

基本指針・環境方針	1
トップメッセージ	2
会社概要	3
組織体制・ISO14001：2004への取組み	4・5
CO <sub>2</sub> 排出量の把握	6
従業員教育（外部）	7
従業員教育（内部）	8・9
太陽光発電の状況	10

# 基本指針・環境方針

## 基本指針

(株)イマナガは、廃棄物の資源化・有効利用を継続して実行することを最終目的とし、廃棄物を適切に処理することによって環境への悪影響を低減し、処理技術の確立に努め、収集運搬から中間処理及び容器包装リサイクル事業まで一貫したシステムによる再資源化 100%を目指し、循環型社会づくりに貢献する事業活動を行います。

## 環境方針

1. 事業活動において、環境側面を意識し廃棄物の資源化・有効利用、廃棄物の処理に係わる環境への影響を自主監査し、環境負荷を低減します。
2. 廃棄物の処理に係わる適切な技術の開発、実行、改善を継続的に実施し、省資源、省エネルギーなど、環境汚染の予防に務めます。
3. 環境関連の法規制、その他の要求事項を順守し、環境汚染物質などの排出については自主基準を定め、確実に環境保全に努めます。
4. 事業活動において、環境目的及び目標を設定し、継続して見直し改善します。
5. 環境保全活動を通じて、地域社会に積極的に貢献します。
6. 環境方針は全従業員及び当社へ係わる事業者に周知し、一般に公開します。

改訂 2006.1.15

# トップメッセージ

## エコタウン事業について

弊社は昭和 57 年より北九州市の新門司工業団地にて稼働しておりますが、周りを取りまく自然の形が刻々と変化して、今ある自然すべてを未来に残すということが出来なくなっていることを実感しています。北九州市は新しい循環型社会の構築として、エコタウン事業「あらゆる廃棄物を他の産業分野の原料として活用し、最終的に廃棄物をゼロにすること（ゼロ・エミッション）」を目指しています。企業としては ISO 14001 の活動を通じ、明確な環境基本方針や環境方針を掲げ、廃棄物を適切に処理し、環境への影響を自主監査し、環境への負荷を低減することが可能な体制づくりを行っております。

弊社の商標となっている「生かそう減らそう廃棄物」というマークも、地球環境というイメージで作ったものです。これからも限りある資源を大切に、エコタウン立地企業としてリサイクルに取り組んでいきます。又、環境負荷物質についての認識や、影響についての把握に努め社会に貢献できる経営を行ってまいります。

## これからの事業展開は

平成 25 年 12 月 26 日に環境省より発表された資料によりますと、廃棄物の排出量は年々少しずつ減少しており、その中の 52% が再生利用 44% が中間処理等での減量化、3% が最終処分と推計されています。これからも中間処理業者として減量化した後、再生利用できるようにお客様にご提案を行ってまいります。

今年も弊社は九州電力（株）様と夏季休日契約を締結しました。夏場の電力使用のピークを迎えた時に少しでも電力の需給が安定するようにと、出来る限り弊社の夏季平日の操業を調整しております。限りあるエネルギーを有効に活用できるようにと願っております。

昨年 8 月から、弊社は工場の屋根に再生可能エネルギーである太陽光発電設備を設置し、順調に稼働しております。又、燃料に関しては今年 8 月から収集運搬車両に映像記録型ドライブレコーダー搭載デジタルダコグラフ「DENSO ドライビングパートナー」を設置し安全・エコ運転の推進を行ってまいります。

## ステークホルダーの皆様へ

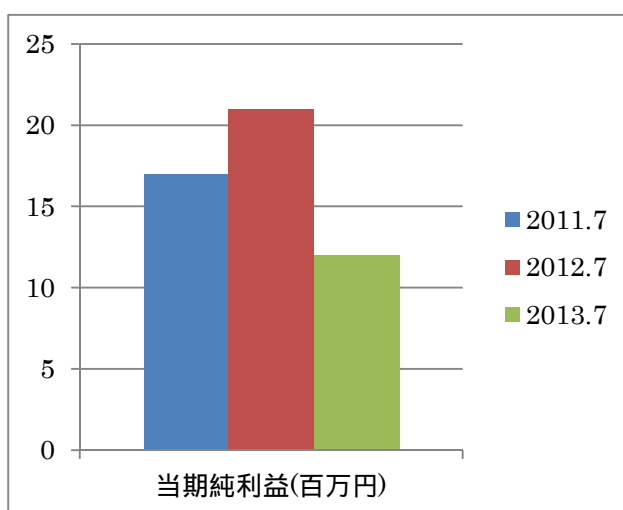
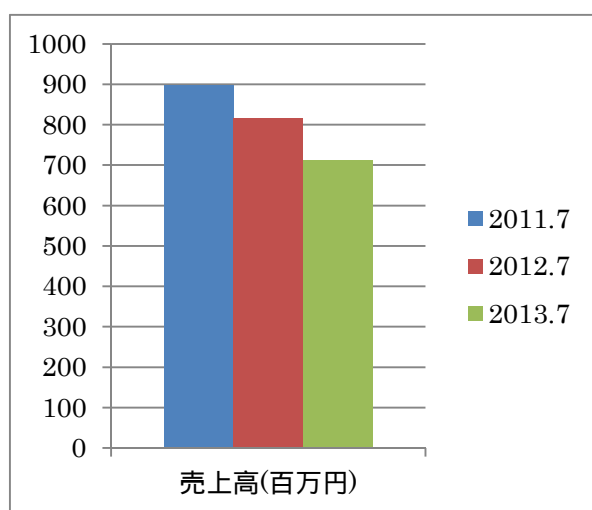
弊社は産業廃棄物処理業者として事業活動を行っていますが、地域の方々の理解がなければ事業を行ってはいけません。又弊社に係わるすべての企業の皆様の協力がなくては、お客様に満足していただける事業は行えません。環境保全活動やリサイクル事業を通じて社会に貢献する企業として、ステークホルダーの皆様の信頼にお応えすることが、弊社の発展に繋がると確信しています。これからも皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

デジタルダコグラフを装着した車両については、今まで以上に安全・エコに配慮した運行を行っております。交差点等ゆっくりとした走行を目指しておりますので、よろしくお願い致します。

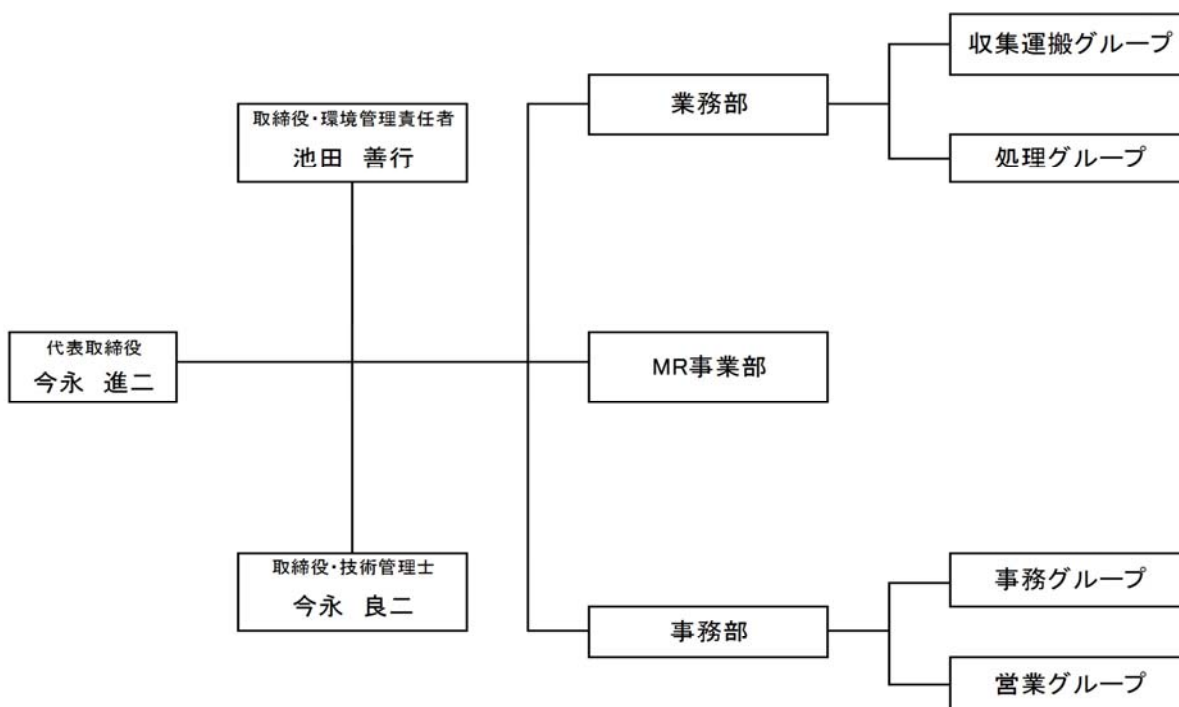
## 会社概要

商号	株式会社イマナガ
所在地	〒800-0115 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 TEL093-481-5097 FAX093-481-5098 Mail : info@imanaga-r.co.jp
代表者名	代表取締役 今永進二
役員	取締役 池田善行 取締役 今永良二 監査役 今永洋子
従業員数	48 名
工場所在地	本社工場・第一工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 2 号 第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 38 番 1 号 MR 工場・MR 第二工場 福岡県北九州市門司区新門司三丁目 41 番
資本金	50,000,000 円
ISO14001 認証番号	JQA EM-1520 (2001 年 4 月 13 日登録)
取引銀行	福岡銀行 門司駅前支店 北九州銀行 門司支店

## 売上高と当期純利益の 3 年間の推移



株式会社イマナガ組織体制 (平成 2014 年 5 月 1 日改訂)



ISO14001 : 2004 による環境への負荷低減の取り組み(2001 年 4 月 13 日登録)

期間	重点目標
~ 2003.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、各燃料の効率的使用のためのデータ作成・自主基準値作成
2001.8.1~ 2002.7.31	各データ収集により把握した基準値をもとに目標値を決定し、有効的なマテリアルリサイクルを推進
2002.8.1~ 2003.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクルは目標値を大きく超え、設備の導入や分別精度にも展開
2003.8.1~ 2006.7.31	電気の効率的な使用、燃料の効率的な使用、紙の有効利用
2006.8.1~ 2009.7.31	廃プラスチック類のマテリアルリサイクル推進・各種燃料使用料の低減、労働者の安全衛生確保、グリーン購入法推進
2009.8.1~ 2012.7.31	廃棄物のマテリアルリサイクル推進、顧客先管理台帳による一元化(契約書、収集運搬、処理)、従業員のリスクアセスメントへの取り組み
2012.8.1~ 2015.7.31	前期までの取組を継続中 従業員一人一人の教育による意識の改革と視覚教材を使用した教育訓練

## 現在までの取組の問題点

2001年より取り組んできた省資源・省エネルギーの推進について、全社的な取り組みとして通常の業務において、電気使用の把握を行っておりますが、廃棄物処理業者として、廃棄物の処理量が多くなれば使用量が増え、廃棄物の種類により負荷のかかり方が違い、使用機械の稼働状況によっても変動する為、前年と比較する事が非常に難しく、データ比較は出来ませんでした。又、電気使用量の突発的な変化の原因がつかめないままでした。

## 現在までの取組により変化したもの

電気の突発的な使用量の変化については、九州電力様の協力により計測機器をつけデータを取り、改善提案を出していただきました。施設については、定期的なメンテナンスや機械の消耗品の把握など現在までのデータをもとに、省力化できる活動を行いました。

又、収集運搬車両については今年8月より、目で見える安全・エコ運転の取組として映像記録型ドライブレコーダー搭載デジタルダコグラフ「DENSOドライビングパートナー」を車両に設置し、収集運搬グループとしての活動を行っています。

又、社内で使用しているフォークリフト(6台)の燃料は、窒素酸化物(NOx)が少なく、硫黄酸化物(SOx)や煤煙がほとんど発生しない、クリーンエネルギーであるLPGにしています。

## 地域社会との交流活動

会社周辺の清掃作業(3回/年)を行っています。

北九州市制50周年記念 北九州マラソン2014

ファンラン5km 2名参加

ボランティア 4名参加



## 会社内で使用する燃料についてのCO<sub>2</sub>排出量の把握

昨年分に計算ミスがありましたので二酸化炭素排出計算式の見直しを致しました。

2012.8～2013.7

(kg/CO<sub>2</sub>)

	軽油	電気	L P G	A重油	その他燃料
2012.8	75,419	36,598	2,338	2,710	3,254
9	69,993	40,185	1,957	2,710	2,182
10	66,139	40,045	2,105	2,710	2,152
11	62,662	38,334	1,924	2,710	2,037
12	67,023	43,181	1,839	0	2,689
2013.1	59,299	43,580	1,874	5,419	2,012
2	61,791	53,439	2,056	2,710	1,872
3	66,798	50,636	2,353	2,710	2,415
4	71,216	37,209	1,974	2,710	2,228
5	68,799	32,459	1,633	2,710	2,593
6	73,356	28,198	1,706	2,710	1,920
7	68,292	31,390	1,965	0	2,104

2013.8～2014.7

	軽油	電気	L P G	A重油	その他燃料
2013.8	69,981	33,003	1,662	2,710	3,060
9	68,779	33,324	2,006	0	2,168
10	72,851	31,926	1,993	2,710	2,220
11	66,516	35,465	1,796	2,710	1,976
12	70,664	33,836	1,865	0	2,439
2014.1	65,154	38,016	2,014	2,710	1,972
2	68,652	49,525	2,212	0	2,172
3	76,852	47,815	2,643	2,710	2,420
4	75,040	30,593	2,438	0	2,860
5	66,864	32,285	2,000	2,710	2,314
6	66,929	29,589	2,202	0	2,680
7	78,085	27,336	1,993	2,710	3,570

環境省の温室効果ガス排出量計算のための算定式及び排出係数一覧表による



## 従業員教育

外部教育（2013年8月から2014年7月まで）		
年月日	内 容	参加人数
2013.9.9	危険物取扱者定期講習	3名
9.10	安全運転管理者講習	1名
9.17	副安全運転管理者講習	1名
10.30	副安全運転管理者講習	1名
11.7	運行管理者等指導講習	1名
11.13	交通安全講習会・労働災害防止講習会	1名
11.26	産業廃棄物実務従事者研修会	1名
12.2	水素社会実現のシンポジウム	2名
12.11	協力企業様によるトラック安全連絡会年末年始安全会議	1名
12.14～12.16	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	1名
2014.1.20～ 1.23	廃棄物処理施設技術管理者講習（破碎・リサイクル施設コース）	1名
2.3	北九州市環境産業推進会議	1名
2.7	女性と子どもの安全みまもり企業	1名
2.8	交通労働災害防止管理者	1名
2.13	部下の自立と自走する組織の作り方	1名
2.14	北九州市廃棄物適正処理推進講習会	1名
2.24～2.27	廃棄物処理施設技術管理者講習（産業廃棄物中間処理施設コース）	1名
2.28～3.9	フォークリフト運転技能講習	1名
3.1	車両系建設機械(整地用)技能講習	1名
3.3	車両系建設機械(新解体用)技能講習	1名
5.26～5.29	廃棄物処理施設技術管理者講習（破碎・リサイクル施設コース）	1名
5.30	平成26年度算定基礎届事務説明会	1名
6.5	車両系建設機械(解体特例第3種)	1名
6.18	大塚製薬 熱中症予防セミナー	1名
6.19	玉掛け技能講習	1名
7.24～7.26	小型移動式クレーン運転技能講習	1名

内部教育（2013年8月から2014年7月まで）		
年 月 日	内 容	参加人数
2013.8.12	マニフェスト事務管理手順の改訂による講習	5名
8.27	新入社員教育(就業規則等)	1名
9.7	新入社員教育(収集グループ)	1名
9.7	労働安全衛生教育(リスクアセスメント、保護具等)	19名
9.9	新入社員教育(処理グループ)	3名
9.14	新入社員教育(就業規則等)	3名
9.14	専門教育(MR事業部)	6名
10.5	顧客先様の構内安全規則の教育	1名
10.7	専門教育(処理グループ)	1名
11.9	顧客先様の構内遵守事項の教育	18名
12.7	作業手順書(収集グループ)による教育	8名
2014.1.11	新入社員教育(就業規則等)	2名
1.11	専門教育(MR事業部)	1名
1.15	顧客先様の構内安全規則の教育	7名
1.17	顧客先様の構内安全規則の教育	4名
1.16	顧客先様の構内安全規則の教育	1名
1.18	専門教育(収集グループ)	2名
1.18	緊急時対応手順テスト(全部門)	23名
1.20	新入社員教育(就業規則等)	1名
1.22	専門教育(処理グループ)	1名
1.31	I S O知識教育	35名
2.1	専門教育(収集グループ)	16名
2.17	新入社員教育(就業規則等)	1名
3.1	専門教育(処理グループ)	2名
3.3	新入社員教育(就業規則等)	1名
3.10	新入社員教育(就業規則等)、力量教育(処理グループ)	1名
3.10	専門教育(事務部)	6名
3.12	新入社員教育(就業規則等)	1名
3.13~3.15	緊急時対応手順テスト(処理グループ)	2名
3.15	緊急時対応手順テスト(収集グループ)	9名
3.29	顧客先様の構内安全規則の教育	5名

内部教育（2013年8月から2014年7月まで）		
年 月 日	内 容	参加人数
2014.3.29	知識教育(収集グループ)	20名
4.14	専門教育(収集グループ)	19名
5.24	専門教育(処理グループ)	2名
5.28	腰痛予防対策(事務グループ)	5名
5.31	顧客先様の環境方針等の教育	20名
6.20	力量教育(業務部)	3名
7.4	専門教育・労働安全衛生教育(業務部、MR事業部)	6名
7.23	専門教育(マニフェスト制度について・事務グループ)	5名
7.26	保険会社講師による教育(全部門)	

### 内部教育の状況



## 太陽光発電（イマナガ発電所）の状況

発電出力 306.0kW

発電量

年月	発電量	期間	備考
2013.8	2,936	8/29～9/4	数日しか稼働していないため発電量が少ない。
9	33,642	9/5～10/6	
10	23,715	10/7～11/6	日照時間が短くなると発電量が減ります。
11	17,744	11/7～12/4	
12	16,142	12/5～1/8	パネルの表面が汚れてくると発電量が減ります。雨が降ると改善します。
2014.1	16,582	1/9～2/5	
2	19,640	2/5～3/4	
3	32,897	3/5～4/6	
4	38,565	4/7～5/7	
5	37,109	5/8～6/4	
6	30,763	6/5～7/6	
7	31,173	7/7～8/5	

### 太陽光発電の問題点

天候に大きく左右される事が一番だと思いますが、周辺の状況によりパネルにほこりが付き、大雨が降らなければそのほこりがついたままになるため、清掃しなければなりません。雨の日は発電量がかなり減りますが、パネルにとっては恵みの雨になります。

### 優良産廃処理業者認定制度

香川県・大阪府を残すのみとなりました。

産学連携技術開発研究活動による新規事業の開拓を行っています。

